

このシンクロにこのシティ

主催 東京造形大学
 共催 アートラボはしもと
 後援 アートラボはしもと事業推進協議会（相模原市・女子美術大学・桜美林大学・多摩美術大学・東京造形大学）

開催日：平成25年9月13日（金）～9月22日（日） 来場者数：549人
 時間：10:00～17:00（13日は19:00まで） 実施場所：アートラボはしもと

内容：アートラボはしもとが存在するここ、橋本というこの街は、今めまぐるしく発展を遂げている。今から新たな社会や歴史が始まるのだろうか。街は、人と人が関わり合い、コミュニケーションし、一つの大きな空間を人間同士がシェアすることでできる。そして、その街に社会や歴史ができていく。私たちは、それぞれ異なった環境で生まれ育ち、それぞれ異なった人生を経験して、東京造形大学大学院生として出会った。偶然か必然か、縁あってこの橋本に集まった。橋本というこの街に暮らす人々も、アートラボに足を運んでくれたあなたも、また同じだ。そこには、不思議なシンクロシティ（意味のある偶然の一致）が働いている。私たちは、このシンクロシティからこの橋本で新しい何かを生み出し、始めたい。

（東京造形大学）



出品作家

- 小野田 奈央** Nao Onoda 東京都出身、木彫、陶、樹脂粘土、布などの素材を組み合わせた人形の制作。会場の様々な場所へ人形を点在させる。
- 配島 菜々** Nana Haishima 埼玉県出身、『光・生命力』をテーマに、版表現の作品を制作している。今回はいつもとは違った視点で光について考える。
- 陳 彦君** Chen Yenchun 台湾台北市出身、今回の展示では共同制作で『巣』をテーマとしたワークショップリーダーを務める。
- 小宮 麻記子** Makiko Komiya 栃木県出身、塑造と焼き物を使った生き物の制作。そこに生き物が住んでいるように設置し空間演出する。
- 市村 裕行** Hiroyuki Ichimura 長野県出身、彫刻と空間との境界線に興味を持ち制作している。今回は人の手足を型取りしたものを使いインスタレーションを行う。
- 周 茜旻** Zhou Qianmin 中国広東省出身、漢方薬の美しさを表すインスタレーションの制作。今回は漢方薬と日本の茶文化の融合を試みる。
- 張 子賢** Zhang Zixian 中国上海市出身、建築物のリノベーションをテーマに、相模原市民のアンケートをもとにアートラボはしもとのリノベーションを企画する。
- 田神 光季** Mitsuki Tagami 栃木県出身、塑造と焼き物を使った生き物の制作。そこに生き物が住んでいるように設置し空間演出する。
- 増田 奈緒** Nao Masuda 千葉県出身、細かな描写で風景を捉える制作から、展示する部屋の窓から見える景観を描画に置き換え、窓一面、空間全体の新たな見え方を考える。
- 曾 超** Zeng Chao 中国湖南省出身、中国の仮山が持つ模様と形の変化を表現することで、そこに映し出されるすべての事物が歪曲され破壊する絵画を描く。
- 邵 冰** Shao Bing 中国遼寧省出身、瑪瑙などを用いて中国の伝統的な工芸作品を制作している。

関連プログラム

ギャラリーツアー

開催日：平成25年9月13日（金）
 内容：出品作家が自作について紹介しました。



共同制作・ワークショップ

「自分の巣をつくらう！～はしもと・仲間・わたしをめぐる巣づくり～」

開催日：平成25年9月14日（土）／9月15日（日）／9月16日（月・祝） 参加者数：24人
 内容：人間はもともと色々な人がいて、100人いれば100通りの考え、生き方があります。たくさんの人とのコミュニケーションを通して『じぶん』を見つけます。たくさんの人が住んでいる街で『じぶん』は生きているのです。ワークショップでは『じぶん』の家、そして街を「蜂の巣」に見立て、木枠を繋げることでひとつの大きな作品（街）を作りました。出来上がったみんなの巣を一緒に探検しましょう。

ギャラリートーク「中国現代美術工芸鼎談茶会」

開催日：平成25年9月22日（日曜日） 参加者数：29人
 内容：留学生が現在の中国美術、工芸についてスライドを交えて紹介しました。